

第12回奈良市子ども・子育て会議会議録			
開催日時	平成28年2月5日（金）午前10時から正午まで		
開催場所	奈良市役所 北棟6階 第22会議室		
出席者	委員	大方会長、浜田副会長、岡田委員、岡本委員、亀本委員、北岡委員、栗本委員、柴田委員、竹村委員、藤本委員、横尾委員、横山委員、和田委員【計13人出席】（杉山委員は欠席）	
	事務局	【子ども未来部】 乾部長、中川次長、川尻参事、島岡子ども政策課長、岡崎こども園推進課長、栗山保育所・幼稚園課長、野儀子育て相談課長 【保健所】 池野健康増進課長補佐 【教育委員会事務局】 小川教育政策課長補佐 【学校教育部】 鈴木地域教育課長	
開催形態	公開（傍聴人 2人）	担当課	子ども未来部子ども政策課
議題 又は 案件	1 報告事項 （1）教育・保育部会の開催について （2）子ども条例部会の開催について （3）奈良市子ども会議報告書について 2 議題 （1）奈良市次世代育成支援行動計画（後期）の総括について （2）奈良市子どもにやさしいまちづくりプランの進捗管理について （3）奈良市子どもにやさしいまちづくり条例の検証について （4）その他		
決定又は取り 纏め事項	1 奈良市次世代育成支援行動計画（後期）の総括については、原案どおり承認。 2 奈良市子どもにやさしいまちづくりプランの進捗管理（スケジュール、審議方法等）については、委員から出された意見を踏まえ、取り組んでいくことで承認。 3 奈良市子どもにやさしいまちづくり条例の検証については、原案どおり承認。		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
1 報告事項 （1）教育・保育部会の開催について ・事務局より、教育・保育部会の開催について報告を行った。 ・亀本委員 幼保連携型認定こども園について、先行して実施している自治体では、			

運営に関する課題がいろいろと出てきており、保護者の方々から不安の声が出ていると聞いている。また、幼稚園や保育園の民営化推進についても、公立ならではの役割があると思うので、その部分は引き続き取り組んでいただきたい。最後に小規模保育事業について、卒園後の受け入れについて本当に保障があるのか、連携する保育所が確保されているのかといった不安の声を保護者の方から聞いている。奈良市では新たに小規模保育事業を委託する事業者としてニチイ学館が選定されたと聞いているが、名古屋市にある同社が運営する施設において乳児虐待事例が起きたと聞き、委託先として大丈夫なのかという保護者からの声も聞いているが、大丈夫であるのなら、その根拠等あれば示してもらいたいと思います。

- ・事務局 こども園の運営について課題が出てきているのは事実であるが、その課題をどう解決していくのかということを検証し、運営の基本をつくっていきたいと考えている。
また、公立の役割については、少子化が進む中で、どのようにすればいいのか長期的に考えていく必要があると考えている。
また、小規模保育事業については、卒園後の受入や連携施設については、事業者を公募する際の条件に含めて審査をさせていただいている。ニチイ学館の名古屋市での事件については、市としても情報確認をしている。ニチイ学館の考え方や今後の方向性を確認し、総合的に判断しながら進めていきたいと考えているが、奈良市でのニチイ学館の小規模保育事業の予定としては、4月の開園予定で準備をしている状況である。

(2) 子ども条例部会の開催について

- ・事務局より、子ども条例部会の開催について報告を行った。
- ・大方会長 今後の子ども会議の取組として、募集に手を挙げられる子どもだけでなく、手を挙げられない子どもたちの意見もどこかで反映させることができるようになればよりよい取り組みになると思います。

(3) 奈良市子ども会議報告書について

- ・事務局より、奈良市子ども会議報告書について報告を行った。
- ・和田委員 報告書8ページ以降の子ども会議の様子のところ、同じような写真が多いので、もう少し見せ方に工夫をすれば、より効果的に伝わるのではないのでしょうか、また、40ページ以降の子どもたちの意見に対する回答ですが、市ができることだけでなく、例えば、「この意見については国や県に提言をしていきます」というような外に対する拡がりがあればよいのではないかと思います。

(1) 奈良市次世代育成支援行動計画（後期）の総括について

- ・事務局より、奈良市次世代育成支援行動計画（後期）の総括について説明を行った。
- ・栗本委員 この資料の進捗状況では、実際の利用者数やどのようなニーズが必要であり、利用価値があるのかなどが分かりにくいと思います。しかし、このような内容の把握が必要だと思います。
- ・岡本委員 この資料では、各事業の評価についてばらつきがあるので、統一をした方が各事業を比較しやすくなると思います。また、評価の基準がどのようになっているのか曖昧であるように思います。
- ・事務局 今後の奈良市子どもにやさしいまちづくりプランの検証にこのご意見を取り入れながら考えていきます。評価の基準については、計画策定時に平成26年度の目標値を設定しており、この資料にある評価はそれに対する担当課の自己評価となっています。

(2) 奈良市子どもにやさしいまちづくりプランの進捗管理について

- ・事務局より、奈良市子どもにやさしいまちづくりプランの進捗管理について説明を行った。
- ・岡田委員 各事業の進捗管理の資料を見た時に、なぜこのような評価をしているのかわからないところが出てくると思います。そういう疑問をコメントとして書かせてもらおうと思います。
- ・岡本委員 進捗管理の資料に利用状況や実施状況、利用者の満足度を記載できればいいと思います。
- ・横山委員 数値だけでははかれない質的な部分を判断する時に、どう評価すればいいのかわかるような資料をいただきたいと思います。
- ・和田委員 資料5の別添2で、担当課の自己評価がAからEのランクがありますが、その内訳がポジティブ評価が2つ、ネガティブ評価が3つなので、Aの上にSを設けてみてはどうかと思います。例えば、A評価の事業の中で、利用者の満足度も高いものをSにして、それを各課で目指すというのはどうかと思いました。
- ・亀本委員 平成29年度にアンケートを実施する際には、こども園、保育所、幼稚園といった各施設の利用者を対象にいろんな評価をもらって、その結果を我々が評価することが大事だと思います。
- ・横尾委員 各事業を評価するにあたって、事前にコメントや質問を書くのはすごく効率のいいやり方だと思います。そのコメントを記載する期間はどれぐらいあるのでしょうか。
- ・事務局 少なくとも半月以上はとりたいと考えている。スケジュール管理には気を付けたいと考えている。
- ・柴田委員 私立幼稚園の代表として来ているので、我々の会の中でも意見を伺わないと、私の個人的な意見だけでこれを評価することはできないと思っています。事前に各課の自己評価をしっかりと見せていただいた上で

考えていきたいと思います。

- ・北岡委員 評価の際には幼稚園等に子どもを通わせておられる保護者の方等のご意見も聞いてコメントを出せるようにしたいと思います。

(3) 奈良市子どもにやさしいまちづくり条例の検証について

- ・事務局より、奈良市子どもにやさしいまちづくり条例の検証について説明を行った。
＜特に意見なし。事務局案の内容で了承。＞

(4) その他

- ・和田委員 教育・保育部会の資料のところで、市立こども園カリキュラムがありますが、このカリキュラムの理念と構成の部分で「子どもたちはこの厳しい時代で育ち」って言葉が前提になっていますが、これが当然のこのようになっているのが気になりました。子どもの育ちということでは「子どもが子どものまま子どもができる」っていうのが前提として忘れてはいけないと思います。
- ・浜田委員 本日の審議で、奈良市子どもにやさしいまちづくり条例第11条第2項の規定を各担当課で評価していくことが決まったことが非常にうれしいことだと思います。
それから、県の方ではまもなく子ども貧困対策計画が策定されますが、市の方ではどのようにする方向なのか、また、その評価をするのはこの会議なのかをお聞きしたいと思います。
- ・事務局 子ども貧困に関わる計画については市の方でも検討していかないといけないと考えています。また、その検討についても、この会議においてご審議いただくことになるかと考えています。
- ・事務局より、次回の会議日程について説明を行った。

資 料	【資料1】 教育・保育部会の開催について 【資料2】 子ども条例部会の開催について 【資料3】 平成27年度奈良市子ども会議報告書 【資料4】 奈良市次世代育成支援行動計画（後期）の総括について 【資料5】 奈良市子どもにやさしいまちづくりプランの進捗管理について 【当日配布資料1】 平成27年12月25日開催 奈良市子ども会議で出された意見に対する奈良市としての回答説明会 概要 【当日配布資料2】 平成28年2月号ならしみんだより
-----	--